



ながしま春木ヶ岡メガソーラー発電事業の立地協定調印式が3月21日、長島町役場で行われました。

今回、立地協定したメガソーラー事業者は、株式会社九電工の子会社で、株式会社新エネルギー企画（西田利彦代表取締役）。事業費は約3億円で、概要は、城川内春木ヶ岡の町有地1万2千平方メートルを20年間賃借し、約1千誌の太陽光パネル3724枚が設置されます。年間93万4349誌の発電予測で、一般家庭約270世帯の年間使用電力量が供給されることとなります。

調印式には、川添健町長と植元敏光町議会議長が出席。川添健町長は「現在本町では26基の風車が稼働し風力発電を行っている。今回のメガソーラーの進出で、クリーン・エコエネルギーの町として弾みがついた。ぐるっとフラワーロードと両立させ、観光資源の一つとして期待したい」とあいさつしました。

西田代表取締役は「同社でのメガソーラー建設は初めての試みとなった。九電工を通して町に相談したところ、前向きに検討がなされここまでこれたことに感謝したい。長島町の発展に寄与できるように全力を尽くすとともに、安定供給を図りたい」と述べ、調印後は、両者間において固い握手が交わされました。

工期は、今年の4月から10月までの7カ月間が予定され、試験調整終了後の11月から供用開始が見込まれ、発電した電気の全量が九州電力に売電されることとなります。

編集後記

▽4月の人事異動で、今回をもって広報係を卒業することになりました。これまで作ってきたのは33月分。デビュー作から四苦八苦しながらの2年8カ月でした。広報係で、知り合いが増え、「人」の財産と、いろいろなことが勉強できたことに感謝しています。毎月の編集後記も、町の話題や私的なことを踏まえながら、頭をひねったことを思い出します。読者の皆さんにうまくお伝えできなかった点、ご迷惑をおかけた点などお詫びいたします。これまでお付き合い本当にありがとうございました。（小屋昭彦）

▽このたび、4月から広報係に配属されました赤寄慶和と申します。初めての広報係ということで、不安と緊張はありますが、これまでの広報係の名に恥じぬよう努力していく所存です。町内のイベントや行事などで皆さんとお会いする機会が増えると思いますので、見かけたときは気軽に声をおかけください。皆さんが、読んで楽しく、わかりやすい広報を作っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。（赤寄慶和）

